



中研レポート No.14 (年2回発行)



発行 自動車安全運転センター 安全運転中央研修所

貨物自動車課程及び旅客自動車課程（3・1日間課程）の新設

貨物自動車課程及び旅客自動車（バス）課程にそれぞれ3日間課程と1日間課程が新設されることとなりました。

これまでこれらの課程には4日間課程と2日間課程がありましたが、企業及び研修生から、「2日間では少しもの足りないが、4日間も仕事を休めないから3日間課程があれば助かる。」「仕事で2日間は無理だけど1日なら何とかできるので是非研修を受けたい。」等の要望が多く寄せられたため、この度、両課程にそれぞれ3日間課程と1日間課程を新設することとなりました。

この新設により貨物自動車課程も旅客自動車課程もそれぞれ4・3・2・1日課程が設置されることとなり、研修生の皆さんの選択肢の幅がより広がりました。

研修内容も限られた時間の中で研修生の要望にお応えできるよう充実した内容とし、超一流の教官が日本一の研修施設で皆さんの入所をお待ちしております。



【貨物自動車課程】



【旅客自動車（バス）課程】

特定業務運転者課程【二輪車】（3・2・1日間課程）の新設

特定業務運転者課程とは、電気・通信などの公益事業、運送業、タクシー業、警備業、医療・介護、各種保守・修理業等の安全性・確実性・迅速性が強く要請される業務に従事する運転者に必要な知識技能についての研修です。

これまで、この研修は【四輪車】のみの研修でしたが、二輪車を使用する企業や運転者から「二輪車の研修もあれば是非参加したい」との要望にお応えし、特定業務運転者課程に【二輪車】課程を新設することとしました。

これまで一般の方の二輪車研修は、25歳未満を対象とした青少年運転者課程だけでしたが、今後は特定業務運転者課程【二輪車】により、25歳以上の研修生も受講できることとなりました。

二輪車を使用する企業や運転者の皆さん、特定業務運転者課程【二輪車】を受講して、ご自分のライディングをもう一度見つめ直してみませんか。



【スラローム走行】



【不整地走行】

消防・救急自動車運転技能者課程（4日間）の紹介



【スラローム走行】

限界に近い走行の体験から、各ドライバーの運転上の癖を修正し、正しい乗車姿勢を身につけ、さらに車の走行性能を生かした安全で正しい走行方法を学びます。



【障害物回避と危険回避】

実際の危険場面に近い状況での危険回避を体験し、具体的な危険回避方法を習得するとともに、運転操作による危険回避の限界を理解し、危険に近づかない運転行動の重要性を学びます。



【スキッド走行】

ブレーキ性能や走行性能など、車の性能の限界を超えた場合の危険性を、滑りやすい路面で安全に体験して、運転操作だけでは車をコントロールできないことを学びます。



【緊急走行・安全補助要領】

安全な緊急走行の方法を体験し、緊急走行時の危険予測と対応要領を学びます。また、緊急走行中の助手席同乗者の心構えと安全確認要領等の安全運転補助要領を学びます。

消防車・救急車の運転に従事する消防職員の方々に、緊急自動車の運転に必要な知識や技能を習得していただくために、4日間にわたる実践的な研修をおこなっており、平成3年5月の開設以来、これまで全国から数多くの消防職員の方々が受講され、「『危険』を『安全』に認識できた」、「教官の指導もわかりやすく、設備も充実している」、「研修で学んだ内容を同僚や家族にフィードバックしていきたい」、「より多くの職員に研修を受ける機会をつくりたい」、「もう一度研修を受けてレベルアップを図りたい」といった声が寄せられています。

まだ研修を受講されていない消防職員の皆様には、国民の安全を守る崇高な職務を全うするため、消防自動車等の安全運転のレベルアップを図ることがいかに重要であるかを認識していただき、安全運転中央研修所での研修を是非ご活用ください。

教官コーナー（実技教官）

中澤直人教官（新潟県関原自動車学校から出向）

中央研修所の教官として3年目を迎えました。様々な研修を担当させてもらっていますが、常に心がけていることがあります。

- ① 正しい情報を伝えること
- ② 自らも実践していること
- ③ 後で思い出しやすいこと

をできるだけ意識して研修を行っております。ここでしか得ることのできない体験を通して安全運転に生かしていただきたいと思います。



下田武稔教官（長野県諏訪自動車学校から出向）

実技教官として約2年半、多くの研修に係わってきました。

今でも、こういう研修でよい、こんな研修をすれば研修生に伝わる、という自分自身納得のできる研修はなかなかできず、人に伝えることの難しさを痛感する毎日です。

今後も、できるだけわかりやすい研修を心がけ、皆さんの安全運転について考えるきっかけとなるように、精一杯、研修と向き合っています。



大木学教官（千葉県警察から出向）

出向という貴重な時間を大切にすることを念頭に自身のスキルアップにも努め、その時間がいよいよ終盤を迎えました。

兎角、スキルアップ＝技術とその向上のみに囚われがちですが、それは『人と車の運転』にとって『諸刃の剣』となるかもしれません。

研修では是非『意外に思うようにいかない車の運転』を体験して頂きたいです。

失敗が前提の研修内容ではありませんが、一般道で失敗はできないからです。

運転技術だけでは補えないこと、危険を遠ざける上で必要な大切なこと、などを考えるヒントを提供し、『運転することの恐さ』に気付いてもらうお手伝いをさせて頂いています。



上野高盟教官（長崎県警察から出向）

日本の安全運転教育の総本山と言わなければならない中央研修所の教官として勤務し、早や2年が経ちました。

中央研修所の充実した設備と培われた高度な研修内容をフルに活かして、研修生にわかりやすく、さらに以後の運転行動に良い変容を与える研修を行っていきたいと思います。



清水賢一教官（愛媛県警察から出向）

出向して、3年目となりました。

研修生の皆さんには、自分の運転を見つめ直してもらい、安全運転に対する意識を変えてもらう事を目標に研修を行っています。

今後も、自らレベルアップに努め、過去の経験等を生かした、心に響く研修を目指していきます。



平成26年中の主な行事

安全運転中央研修所では、安全運転研修のほか、全国規模の安全運転競技大会等も開催されています。平成26年中の主な行事を紹介します。

【第17回SDAセーフティコンテスト】



9月13日(土)、「第17回SDAセーフティコンテスト」が開催され、開会式が附属交通公園で行われました。中研での開催は今回で4回目となります。



原付三輪スクーターによる中低速車両感覚走行競技が行われ、各社から選抜された選手により、熱戦が繰り広げられました。

【第45回全国白バイ安全運転競技大会】



10月11日(土)・12日(日)、「第45回全国白バイ安全運転競技大会」が開催されました。大会初日のトライアル走行競技の様様です。



大会2日目の傾斜走行競技の様様です。全国から選抜された白バイ隊員が日頃の訓練の成果を遺憾なく発揮し高レベルの技術を競い合いました。

【第46回トラックドライバー・コンテスト】



10月25日(土)・26日(日)、「第46回トラックドライバー・コンテスト」が開催されました。点検競技の様様です。



コンテスト2日目、スラローム(後進)の様様です。各地区予選を勝ち抜いてきた精鋭ドライバーが参加し、プロトラックドライバー日本一を競いました。

【その他】



5月25日(日)、「バイクナビ・グランプリ2014春のひたちなかエンデューロ」が開催されました。約400人の自転車愛好家が中研を自転車で駆け抜けました。



11月20日(木)、「第23回交通警察行政研修」に参加しているブータン等8か国の警察幹部が中研を訪問し、スキッドパン等の同乗体験などが行われました。